

第七十三回 帝國議會衆議院臨時租稅增徵法中改正法律案外七件委員會議錄(速記)第七回

會議	曾木 重貴君	豐田 收君	酒精及酒精含有飲料稅法中改正法律案 (政府提出)
昭和十三年二月二十四日(木曜日)午前十時 三十八分開議	出席委員左ノ如シ	出席委員左ノ如シ	出席國務大臣左ノ如シ
理事岡本實太郎君	理事高橋熊次郎君	理事水谷長三郎君	水谷長三郎君
理事西村金三郎君	理事岩瀬亮君	理事三木武夫君	三木武夫君
理事東條貞君	理事中川勝	大藏政務次官太田正孝君	大藏大臣賀屋興宣君
渡邊玉三郎君	前田房之助君	大藏參與官中村三之丞君	大藏參與官中村三之丞君
川崎克君	勝正憲君	大藏書記官松隈秀雄君	大藏書記官松隈秀雄君
矢野庄太郎君	川崎末五郎君	大藏書記官田中豊君	大藏書記官田中豊君
宇賀四郎君	津倉亀作君	臨時租稅增徵法中改正法律案(政府提出)	臨時租稅增徵法中改正法律案(政府提出)
川副隆君	佐藤洋之助君	○岡本委員長代理 是ヨリ前日ニ引續キマ シテ臨時租稅增徵法中改正法律案外七件ノ 委員會ヲ開キマス、高橋委員長ハ本日ハ御 不快ノ爲ニ、暫ク御出席ガ延ビルト云フコ トデスカラ、私此席ヲ曹ク汚サセテ戴キマ ス、昨日ノ委員會デ前田委員カラ農林省主 管ノ關係ニ付テ、農林大臣ノ御出席ヲ要求 サレマシタ、然ル所今日農林大臣ハ貴族院	所得稅法中改正法律案(政府提出) 相續稅法中改正法律案(政府提出) 登錄稅法中改正法律案(政府提出) 酒造稅法中改正法律案(政府提出)
小串清一君	青山憲三君	大正九年法律第十二號中改正法律案 (政府提出)	大正九年法律第十二號中改正法律案 (政府提出)
宮本雄一郎君	服部岩吉君	得稅法ノ施行ニ關スル件(政府提出)	得稅法ノ施行ニ關スル件(政府提出)
岡田忠彦君	山川賴三郎君	支那事變特別稅法案(政府提出)	支那事變特別稅法案(政府提出)
森田福市君	鶴惣市君	麥酒稅法中改正法律案(政府提出)	麥酒稅法中改正法律案(政府提出)

付託議案
臨時租稅增徵法中改正法律案（政
府提出）
所得稅法中改正法律案（政府提出）
所徵稅法中改正法律案（政府提出）
登錄稅法中改正法律案（政府提出）
酒稅法中改正法律案（政府提出）
酒精及酒精含有飲料稅法中改正法
律案（政府提出）
大酒稅法中改正法律案（政府提出）
正九年法律第十二號中改正法律
案（政府提出）
所得稅法ノ施行ニ關スル件
（政府提出）
支那事變特別稅法案（政府提出）
臨時利得稅法中改正法律案（政府
提出）
臨時租稅增徵法案（政府提出）
日滿國稅徵收事務共助法案（政府
提出）

ノ方ノ會議ノ御都合上、御出席出來ヌサウ
デアリマスルカラ、是ハ後ニ保留致シマシ
テ、通告順ニ依リマシテ次ノ御方ノ發言ヲ
許スコトニ致シマス——岡田忠彦君

○岡田委員 今日ハ成ベク午前中ニト思ヒ
マスノデ、御答辯ノ方モ成ベク簡單ニ願ヒ
タイト思ヒマス、餘リマシタラ又改メテ伺
フコトニ致シタイト思ヒマス、先ヅ提案ノ
順序ニ依リマシテ質問ヲシテ行キタイト思
ヒマス、ソコデ一番初メニ御出シニナッタ分
ニ付テ伺ヒマス、其中第三種所得稅増徵ニ
付テデアリマスガ、表ニ依リマスト一面ニ
於テハ減稅ヲ行ッテ居ル階級ガアルヤウデ
アル、稅率ヲ下げテ居ルヤウデアルガ、此
減稅ニナッタ理由ハドウ云フノデアリマセ

致シタモノハアリマセス

○岡田委員 稅率ノ減デアリマス

○賀屋國務大臣 稅率ノ減モアリマセヌ、若シアリト致シマスレバ、ソレハ昨年ノ臨時増徵法ノ部分的改正ノ稅率ヲ、更ニ小刻ミニト申シマスルカ、比例稅率デナクシテ、超過累進的ニ改メマシタモノノ中ニ、最高稅額ノ點ニ付キマシテノヤリ方ヲ變ヘタモノガアリマス、今回ノ増稅ノ中ニハ減稅ヲ致シタモノハアリマセヌ

○岡田委員 ソレデハモウ少シ分ケテ伺ヒマス、政府提出ノ參考書ニ依リマスト、稅率ガ改訂ニナッテ居ツテ、減ノ分ガ一万圓迄ハ減率ニナッテ居ルヤウデアリマス、ソレカラ四百万圓迄ハ減率ニナッテ居ルヤウデアリマス、ソレカラ四百万圓迄ハ減率ニナッテ居ルヤウデアリマス、之ヲ合理的ニ累進率ニ改メマス必要上、所謂一部的改正ト致シマシテ、先般提案致シタモノデアリマス、詳細ニ付キマシテハ政府委員ヨリ申上、ゲルコトニ致シマス

○岡田委員 宜シウゴザイマス、ソコデ私

タ結果、千三百圓マデ新ニ徵稅サレルモノノ數ガ四十万人餘ニナリ、其見込收入額ト云フモノガ四百六万九千圓トナル表ガ此處ニ出テ居ルヤウデアリマス、一面ニ斯ノ如ク增收ヲ來シテ居ツテ、一面ニハ又一万圓以上ノ比較的負擔力ノ多カラウト思ハレル部分ヲ減ジテ居ル、茲ニ何カ社會政策上ノ見地ニ立ツテ大藏省ノ御意見ハアリマセヌカ

○賀屋國務大臣 一万圓以上ノモノハ減ジ

テ居リマセヌ、今申上ゲマシタヤウニ、稅法ノ稍、粗笨デアリマシタモノヲ、比較的合理的ニ修正致シマシタノデアリマシテ、一万圓以上ノモノニ付キマシテモ別ニ減收ニ

○岡田委員 ソレデハ私ノ計算ハ増減ナ

ノ仰シヤック通リニ、此前ハソコハ細別シテ

ナカツタカラ、十二年ノ人員ナドニ付テ推定

ヲ致シタモノガ、概算百五十萬圓トナルノ

ノ減收トナツテ居ルヤウニ思ハレル、此點御

認ニナルカ如何デアリマスカ

○賀屋國務大臣 今ノ御計算ハ私共ノ方デ

ハ能ク分リマセヌノデス、前ニモ申上ゲマ

テ居ルノハ先刻申上ゲマシタ通リデアリマ

シテ、其爲ニ如何程位ノ減少ニナルカト云

得マシタ租稅臨時增徵法ノ所得稅ノ增加ノ

率ノ立テ方ガ粗笨ノ嫌ガアリマスノデ、之ヲ合理的ニ累進率ニ改メマス必要上、所謂

一部的改正ト致シマシテ、先般提案致シタモノデアリマス、詳細ニ付キマシテハ

能ク表ヲ御覽ニナツテ居テ下サイヨ……
○岡本委員長代理 一寸途中デ失禮デス
ガ、混雜スルトイケマセヌカラ、一應委員

長ヲ經テ御發言ヲナサルヤウニ願ヒマス、ト、總額二億三千万圓中デ二十二万圓ノ減

收ニナツテ居リマスガ、大體ニ於テ是ハ增減ナカラシメル趣旨ニ於テ、稅率ヲ補整致シタ結果デアリマス

○岡田委員 只今總計ニ於テ減收ニナルト付テハ百万圓、ソレカラ三万圓以下ノモノニ

ニ付テハ六十八万七千圓、五万圓以下ノモ

ノニ付テハ七万九千餘圓、四百万圓以下ノ

モノニ付テハ七万六千餘圓、是以外ニ十五

万圓、十三万圓以下ノモノハ先ニ大藏大臣

ノ仰シヤック通リニ、此前ハソコハ細別シテ

ナカツタカラ、十二年ノ人員ナドニ付テ推定

ヲ致シタモノガ、概算百五十萬圓トナルノ

ノ減收トナツテ居ルヤウニ思ハレル、此點御

認ニナルカ如何デアリマスカ

○賀屋國務大臣 主稅當局ノ計算ハ増減ナ

カラシメル趣旨デ、唯機械的ニ計算致シマシ

タ結果、二十二万一千五百八十六圓ノ減少

ヲ致シタモノガ、概算百五十萬圓トナルノ

ノ減收トナツテ居ルヤウニ思ハレル、此點御

檢討ヲ願ヒタイト思ヒマスガ、何レニシテ

モ二十二万圓ノ減收トカ、三十二万二千圓

ノ增收トカ云フコトハ大シタ關係ハナイ、

ソレハソレトシテ、兎ニ角今申シタ通リニ

一万圓以下乃至四百万圓以下ハ是レノト

云フテ、四百五十萬圓ノ減稅ニナツテ居ルコ

トハ御認ニナラヌカ

○賀屋國務大臣 ソレハドウモ御同意致シ

兼ネマス、今ハ稅制ノ整理ヲ致シ兼ネマシタノデ、高過ギル所ヲ稍、減ジ、低過ギル所

ヲ稍増シタノデアリマス、減ズル方ヲ拾ヒ
マシテ幾ラニナルト云フコトデアルト、或
ハ計算ハサウナルカモ知レマセヌガ、是ハ
増減ナカラシメル趣旨デアリマシテ、税率
ノ適正ヲ期シタ譯デアリマスカラ、部分的
改正ニ依ツテ四百何十万圓減少ニナルト云
フ御意見ニハ、ドウモ御同意申上ゲ兼ネル
次第デアリマス

○岡田委員 私ハ意見ヲ言ウタノデハナイ、
數字ヲ申シタノデアリマス、即チ此現實ニ
税率ヲ減ゼラレル階級ニ於テハ、四百五十
万圓前後ノ減收トナルノデハナイカト云フ
コトヲ伺ッテ居ルノデアリマシテ、意見ヲ言
ウタノデハナイノデアリマス

○賀屋國務大臣 ソレニ致シマスレバ御計
算ノ數字ヲ別ニ一ツ拜借ヲ致シマシテ、能
ク政府委員ノ方ニ検討サシテ見タイト思ヒ
マス

○岡田委員 ソレハ政府委員ノ方ニ、此稅
率ヲ變ヘテソレガ全體デ二十二万圓ノ減少
ニナルト云フ其累計ガアリマセウ、其累計
ニ付テ前年度ノ數ヲ御検討ニナレバ直グ分
ルデハアリマセヌカ、後ニ調ベルトハ何事
デアリマスカ、今直グ數字ヲ出シテ見クラ
宜イデセウ

○賀屋國務大臣 後デソレヲ取寄セマシテ

ヲ稍増シタノデアリマス、減ズル方ヲ拾ヒ

マシテ幾ラニナルト云フコトデアルト、或

ハ計算ハサウナルカモ知レマセヌガ、是ハ

増減ナカラシメル趣旨デアリマシテ、税率

ノ適正ヲ期シタ譯デアリマスカラ、部分的

改正ニ依ツテ四百何十万圓減少ニナルト云

フ御意見ニハ、ドウモ御同意申上ゲ兼ネル

次第デアリマス

○岡田委員 一寸御相談デスガ、其

外ノ方ノ事ヲ御質問願ヘマセヌカ

○岡田委員 之ヲ先ニ聽キマセヌト、後ノ

話ガ出ナクナルノデアリマス——一寸政府

委員ニ申シテ置キマスガ、私ノ手許ニ在ル

昭和十二年ノ第三種所得稅階級別ノ人員表

ト云フモノハ、私ノ方ノ政友會ノ調查部ニ

アルモノヲ累計シタノデアリマスカラ、別

ニ御疑ニナラヌデモ是ハ間違ヒナイト云フ

コトヲ、茲ニ一言申上ゲチ置キマス

○岡本委員長代理 一寸速記ヲ止メテ下サ

イ
〔速記中止〕

○岡本委員長代理 速記ヲ始メテ……

○岡田委員 此階級別人員表ヲ對照致シマ

スト、減率サレタル部分ニ付テハ、階級ガ

違フカラ推定ノ人員デハアリマスガ、略、

違ハヌト思ヒマス、若シ違ツテ居タラ後デ

又訂正スルトシテ、私ノ今申シタ數字ハ御

デアリマスカ、今直グ數字ヲ出シテ見クラ

宜イデセウ

○賀屋國務大臣 後デソレヲ取寄セマシテ

調ベテ居リマスガ、今御述ニナリマシタヤ

御答致シマス

○岡田委員 ソレデハ私ハ皆様ニ御辛抱ヲ

願ツテ、ソレ迄此儘待チマス

○岡本委員長代理 一寸御相談デスガ、其

前提ガナイト次ノ質問ニ入レマスマイカ、

話ガアリマシタガ、私ハ細カイ數字ヲ檢討

スルノデハアリマセヌ、概略ノ「ラウンド・

ナンバー」デ御伺スルノデアリマス、千圓

ヨリ千二百圓迄ノ人員ニ依リ、又大藏省ノ

話ガ出ナクナルノデアリマス——一寸政府

委員ニ申シテ置キマスガ、私ノ手許ニ在ル

昭和十二年ノ第三種所得稅階級別ノ人員表

ト云フモノハ、私ノ方ノ政友會ノ調查部ニ

アルモノヲ累計シタノデアリマスカラ、別

ニ御疑ニナラヌデモ是ハ間違ヒナイト云フ

ガ略、四百五十萬圓アル、略似タモノト見

ナケレバナラヌ、私ハ先刻申上ゲタヤウニ

三十二万一千圓ノ增收アリト認メテ居ル、

是ハ後ノ話ニナルガ、若シソレヲ加ヘルト

茲ニ四百五十萬圓ト三十萬圓デ四百七十萬

圓以上ノ增收ガ何處カデナケレバナラヌ、

之ヲ何處デ求メルカ、既ニ千圓ヨリ千二百

圓ノ間ニ於テ四百万圓ノ增收ヲ見テ居ルノ

カ、政府ト云フカ、之ヲ社會政策ノ見地ニ

立ツテ、ドウ考ヘテ居ルカト云フコトヲ聽キ

タイノデアリマス、吾々カラ見レバ一万圓

ヨリ一万五千圓、或ハ四百万圓ト云フ比較

的擔稅力ノ多イモノヲ減率ヲシテ置イテ、

下ノ千圓カラ千二百圓ト云フモノニ略、同

額ノモノヲ課シタト云フコトニ付テハ是ハ

ウナ御計算ノ基礎ナラ、略其金額ハ當ツテ

居ルモノト考ヘラレマス

○岡田委員 只今大藏大臣カラ左様ナル御

話ガアリマシタガ、私ハ細カイ數字ヲ檢討

スルノデハアリマセヌ、概略ノ「ラウンド・

ナンバー」デ御伺スルノデアリマス、千圓

ヨリ千二百圓迄ノ人員ニ依リ、又大藏省ノ

話ガ出ナクナルノデアリマス——一寸政府

委員ニ申シテ置キマスガ、私ノ手許ニ在ル

昭和十二年ノ第三種所得稅階級別ノ人員表

ト云フモノハ、私ノ方ノ政友會ノ調查部ニ

アルモノヲ累計シタノデアリマスカラ、別

ニ御疑ニナラヌデモ是ハ間違ヒナイト云フ

ガ略、四百五十萬圓アル、略似タモノト見

ナケレバナラヌ、私ハ先刻申上ゲタヤウニ

三十二万一千圓ノ增收アリト認メテ居ル、

是ハ後ノ話ニナルガ、若シソレヲ加ヘルト

茲ニ四百五十萬圓ト三十萬圓デ四百七十萬

圓以上ノ增收ガ何處カデナケレバナラヌ、

之ヲ何處デ求メルカ、既ニ千圓ヨリ千二百

圓ノ間ニ於テ四百万圓ノ增收ヲ見テ居ルノ

カ、政府ト云フカ、之ヲ社會政策ノ見地ニ

立ツテ、ドウ考ヘテ居ルカト云フコトヲ聽キ

タイノデアリマス、吾々カラ見レバ一万圓

ヨリ一万五千圓、或ハ四百万圓ト云フ比較

的擔稅力ノ多イモノヲ減率ヲシテ置イテ、

下ノ千圓カラ千二百圓ト云フモノニ略、同

額ノモノヲ課シタト云フコトニ付テハ是ハ

ガ出来ヌナラバ、内務大臣モ之ニ同ジ責任

者ノ保護ト云フ點カラ見レバ大藏大臣ノミ

ナラズ、内務大臣ノミナラズ、政府自ラ十

分ナル辯明ヲ國民ノ前ニ與ヘナケレバナラ

ス、斯様ニ思フノデス、大藏大臣ノ御答辯

アレバ、ソレヲ一應伺ツテ見タイ

○賀屋國務大臣 是ハ先程申シマシタヤウ

ニ、昨年ノ臨時增徵法ノ所得別ノ稅率案ガ

致シマシタ、增稅ガナイト云フ見地カラ致

シマシテ、今回ノ部分的改正案ノ如ク直シ

マス方ガ、負擔ノ衡平上、適當ナノデアリ

マス、其基礎ノ上ニ今回更ニ二割五分ト云

フ増稅ヲ致シタノデアリマスカラ、今御話

ノ部分的改正ノ増加ノ部分ハ其儘ニシテ置

イテ、減ズルモノハ減ジナイデ、其上ニ増

稅ヲ致スト云フコトハ不適當ト思ヒマスカ

ラ、其衡平ニ直サレタ點ノ基礎ノ上ニ改正

致シタ次第デアリマスノデ、毫モ差支ナイ

ヤウニ思ヒマス

○岡田委員 ダカラ私ハ納稅ノ技術ヲ聽イ

テ居ルノデハナイノデス、今申ス通り所謂

比較的下層階級ニ對シテ新ニ稅ヲ設ケテ迄

增稅ヲシテ、一面ニハ技術上サウナックト

言ヘバソレ迄デアルガ、上ノ方ノ擔稅力ノ
多イ者ヲ減ズルト云フコトハ、此時代カラ
代デモサウデアルガ、尙更此時局ニ際シテ
下ノ方ノ者ノ稅ヲ取ッテ、上ノ方へ偶、免稅ニ
ナツテ居ルト云フコトハ、技術上如何ナル說
明ガアツテモ、私ハ是ハ政治上、社會上ノ問
題ト思フノデアル、隨テ社會的ニ政治的ニ
御說明ガ仰ギタインデアリマス

四割五分ニ飛上ルト云フヤウニ、階級ノ差
ノ所デ急ニ上リ方ガ強クナルノデアリマス
カラ、是ハ御承知デモゴザイマセウガ、前
年臨時租稅増徵法ヲ實行致シマスル時ニ於
キマシテ、時間ノ餘裕ガゴザイマセヌデシ
タノデ、累進稅率ヲ新シク作り直スト云フ
間ガナカツタ爲ニ、已ムヲ得ズ斯ノ如キ階級
割増率ニ依ツタノデゴザイマスルガ、臨時租
稅增徵法ヲ昭和十三年度ニ於テ廢止スルト
云フコトガ出來マセヌヤウナ狀態ニナリマ
シテ、是ガ昭和十三年度以降ニ於テモ實施
致サレマスルト致シマスルナラバ、今申上
ゲマシタヤウナ階級割増率ヲ執ッテ居リマ
スルガ爲ニ、階級ノ境目デ急激ニ上ルト云
フコトハ、ドウモ負擔ノ均衡上宜シクナイ、
斯ウ考ヘマシタノデ、此負擔均衡是正ノ目
的ヲ以テ、先程申上ゲマシタ二割乃至七割
ト云フ割増率ニ變ヘテ、新シイ累進稅率ヲ
置クコトニ致シタノデゴザイママス、此累
進稅率ヲ置クニ付キマシテハ、色々立法上
ノ技術ガゴザイマシテ、出來ルダケ現行ノ
第三種所得稅ノ階級區分ヲ變ヘタクナイ、
ソレカラ其率ノ間ノ間差ト云フモノモ或ル
比率ガゴザイマスガ、其比率モ出來ルダケ
亂シタクナイ、ソレカラ數字モ成ベク端數
ヲ付ケタクナイ、斯ウ云フヤウナコトデ、

是ハ主トシテ立法ノ技術ノコトデ恐入リマス、ソコデモトノ階級割増率ニ依ツテ「ヂクザク」ニナツテ居ル所ニ持ツテ來テ、ソレヲナダラカニ直シマスル累進税率ヲ盛ルト致シマスレバ、所謂角ガ取レルト云フ結果ニナルノデアリマシテ、角ガ取レル結果ハ、角ノ出ツ張ッタ所ガ少シ減ル、角ノ凹ンダ所ガ少シ上ルト云フヤウナ結果ノ出來マスクトハ、技術上已ムヲ得ザルコトカト存ズルノデゴザイマス、併シ其増減共ニ其割合ヲ出來ルダケ少クスルコトニ努メマシテ、税率ヲ盛ツタヤウナ次第デゴザイマシテ、先程モ大臣カラ御話ガアリマシタ通リニ、吾々ノ方トシマシテハ、昭和十二年度分ノ第三種所得金額ノ決定ノ實績ニ對シマシテ、各階級別ニ此税率ヲ盛ツテ試算ヲ致シテ見シテ、大體此税率デアレバ之ニ依ツテ増減ヲ企圖シナイノデアルト云フ趣旨ガ察セラレマシタノデ、斯ノ如キ税率ヲ採用スルコトニ致シタヤウナ次第デゴザイマス、尙ホ此「ヂクザク」シテ居リマス所ヲ切リマシタ關係上、殖エマシタモノト減リマシタモノト出來マシタコトハ、先程申シタ通リデアリマスガ、上ノ方ニ參リマスト大體七割増徵ヲ其儘採用シテ居リマスノデ、負擔ノ多イ

方ニナツテ參リマスト減ツテ居ルノガナクテ、
御話ノヤウニ減ツテ居リマスノハ一万圓カラ
ヲ五万圓マデノ間ノ階級、ソレカラ十五万
圓カラ三十万圓マデノ間ノ階級デゴザイマ
シテ、若シ此點ヲ減ラサセマイト致シマス
ルト、先程申シマシタ階級ノ區分ノ關係及
ビ税率ノ間差ヲ適當ニ保ツ關係、ソレカラ
成ベク端數ヲ付ケタクナイト云フ關係上、
他ノ方面ニモウ一層増率ガ強ク出マシテ、
此減ヲ減サウトシマスト立法技術ノ關係モ
手傳ヒマスガ、全體トシテ增收ニナツテ參リ
マスノデ、吾々ノ方ノ立場ト致シマシテハ
全體トシテ増減ヲ來サシメナイト云フ趣旨
ニ依リマシタノデ、或ル方面ニ減が出、或
ル方面ニ増が出タト云フコトニナッタ次第
デアリマス、左様御諒承ヲ願ヒタイト思ヒ
マス

ノ上ニ課ツテ居ルト云フ事實ハドウスルカ、是ハ唯技術上ニ考ヘテ増減ヲスルコトハ困ル、何故一般ニ下層階級、若クハ大衆ト云フモノニ政府ハ重キヲ置カナイカ、現實ニ於テ偶々此減收ト云フモノハ、千圓、千二百圓ノモノニ及ンデ居ルデハアリマセヌカ、私ハ之ヲ邪推シテ言ヘバ、是等ノ千圓、千二百圓ノ者ハ政府ニ對シテ聲ヲ上ゲルコトガ出來ナイノダ、其聲ニ聽クコトガ出來ナイノダ、私ハ政府ニソレヲ聽カシタイ、此一万圓トカ、五万圓トカ三百万圓トカ持ッテ居ルモノハ、幾ラデモ政府ニ近付イテ物ヲ言フ、私ハアナタ方ガ知ラズ識ラズ左様ナ者ノ聲ニ聽イテ——是デハ苦シウアリマスカラ、ドウニカシテ吳レト云フ聲ニ聽イテハイケマセヌ、ソンナ不公平ナコトデハイケマセヌ、モット大衆ノ生活ヲ見ナケレバ、ナラナイ、殊ニ此非常時ニ於テハサウデナケレバナラヌ、此千圓、千二百圓ト云フ者ハ何カト言ヘバ、是ハ私ガ見ルト月給取ノ重ナル者デアル、又農村ニ於ケル中堅ノ階級デアル、都會ニ於テハ中小商工業者ノ大部分ガ之ヲ占メテ居ルノデアル、此最モ保護シナケレバナラヌ所ノ多數ノ階級ニ向ツテ、何ヲ苦シニ今斧鉢ヲ加ヘルノデアルカ、增收ガナイト云フ爲ニ、大衆階級ニ向ツテ

飛バツチリヲ喰ハスト云フ私ハ政府ノ觀念ヲ疑フノデアリマス、此點ニ付テハ私ハ是以上ハ押問答ニナルト思フカラ止メル、御返事ガアレバ承リマスガ強ヒテ伺ハヌ、是百圓ノモノニ及ンデ居ルデハアリマセヌカ、私ハ之ヲ邪推シテ言ヘバ、是等ノ千圓、千二百圓ノ者ハ政府ニ對シテ聲ヲ上ゲルコトガ出來ナイノダ、其聲ニ聽クコトガ出來ナイノダ、私ハ大藏大臣ヨリ總理大臣竝ニ内務大臣ハ私ハ大藏大臣ヨリ總理大臣竝ニ内務大臣ニ向ツテ、如何ニ考ヘラレルカト云フコトヲ御尋戴キマシテ、サウシテ

〔岡本委員長代理退席、委員長著席〕

其御返答ヲ願ヒタイ、是ハ偶々稅率ヲ直シタカラスウナルト云フヤウナ小サナ問題デハナイ、私ハ其事ヲ茲ニ警告ヲ致シ、サウシテ總理大臣竝ニ内務大臣ノ御答辯ガアル日ヲ待チタイト思フ、尤モ大藏大臣モ國務大臣デアラレ、稅法ノ専門家デアルカラ、御返事ヲ伺ハヌト云フノデハアリマセヌ、併シ私ハ御返事ガナカッタラ先ニ進ミマス、ドウ致シマセウカ

テ二三御伺ヲシテ見タイノデアリマスガ、其前ニ一ツ申上ゲテ置キ、タイコトハ、私モニ付テ色々喧シクナッタ同ジヤウニ、ドウシテモ本法ハアルケレドモ棚ニ上げテシマッタリ、何條デアッタカ知ラヌケレドモ、其規定ニ拘ラズ、增徵法ヲ作ツテ此處ニ持ツテ來テシマッテ、其分ヲ併合シタ、サナルガ、併シ成ベク早ク之ヲスルト云フコトハ、是ハ政府ノ言フ通リニ異議ハアリマセヌ、ソレデアルカラ成ベク技術的ノ改廢ナルガ、併シ今更ラス様ニ出サレテ居ナ、斯ウ云フヤウナ人心上ニ於ケル機微ノ影響ガアル、併シ今更ラス様ニ出サレテ居延シテ置イテ愈、中央、地方ノ大改正ヲ爲スモ私共ノ希望デ言ヘバモウセヌデモ宜イ、シテ、サウシテ時々ノ細カイ改正ハセヌデ

宜カラウ、是ハ私一人ノ考カモ知レヌガ、左様ニ思クテ居タラノデアッテ、稅制委員會ノ時ニモ本法ト其他ノ臨時法ト云フモノハ、ノ衡平上適當ナノデアリマスノデ、サウ致成ベク別ニ残シテ置カレテ、多少煩雜ニナルガ、本法ハ本法、臨時法ハ臨時法デ残シテ置カレテ、ソレヲ今一寸調合シテ一緒ニシテ見タリ、或ハ別々ニシテ見タリト云リマス

次ニ一般ノ增稅ニ付テノ意見ヲ伺フノデアリマスガ、昨日前田君ト增稅ノ目標ト云

通リデアリマス、左様ナ稅ニ致スノガ負擔ノ平衡上適當ナノデアリマスノデ、サウ致シマシタ、別ニ一千二百圓ヲ千圓ニ下ゲマシタコトト、是ハ何等關係ハナイト考ヘテ居テ思フ、ソレカラ今度ハ一般ノ增稅ノ方ニ付

○岡田委員 關係ガナイト云フ其アナタノ一語ト云フモノハ、私ハ非常ニ不當ダラウ大改革ヲ爲ス時ニ斷ジテヤッタラ宜イ、

ケル質問カト考ヘルノデアリマスガ、其時ニハ五億ノ臨時費ノ中、一億ハ租稅ニ求メ

待ヲ繋グ所以ニモナル、色々ナ意味ニ於テ

私ハ左様ニ希望シテ居タ、私ノ同僚ノ大口君モ其コトヲ大藏大臣等ニ親シク申上ゲテ

居タガ、今回ノ改正ヲ見テ、曩ニ稅種ノコトニ付テ色々喧シクナッタ同ジヤウニ、

ドウシテモ本法ハアルケレドモ棚ニ上げ

テシマッタリ、何條デアッタカ知ラヌケレドモ、其規定ニ拘ラズ、增徵法ヲ作ツテ此處ニ持ツテ來テシマッテ、其分ヲ併合シタ、サ

ウシテ其處へ腰ヲ落付ケテ暫クヤルノカナ、斯ウ云フヤウナ人心上ニ於ケル機微ノ影響ガアル、併シ今更ラス様ニ出サレテ居延シテ置イテ愈、中央、地方ノ大改正ヲ爲スモ私共ノ希望デ言ヘバモウセヌデモ宜イ、シテ、サウシテ時々ノ細カイ改正ハセヌデ

宜カラウ、是ハ私一人ノ考カモ知レヌガ、左様ニ思クテ居タラノデアッテ、稅制委員會ノ時ニモ本法ト其他ノ臨時法ト云フモノハ、ノ衡平上適當ナノデアリマスノデ、サウ致成ベク別ニ残シテ置カレテ、多少煩雜ニナルガ、本法ハ本法、臨時法ハ臨時法デ残シテ置カレテ、ソレヲ今一寸調合シテ一緒ニシテ見タリ、或ハ別々ニシテ見タリト云リマス

次ニ一般ノ增稅ニ付テノ意見ヲ伺フノデアリマスガ、昨日前田君ト增稅ノ目標ト云

フコトニ付テノ問答ガアッタ。ヤウデアリマス、ソレカラ本議場其他ノ會議ニ於テモ屢々、前田君ガビント來ヌト言ッタガ、私モドウモドウ考ヘテモピント來

ス、問答ガアッタ、前田君ガビント來ヌト言ッタガ、私モドウモドウ考ヘテモピント來ス、結局此前ノ慥カ松村君ノ豫算總會ニ於

ケル質問カト考ヘルノデアリマスガ、其時ニハ五億ノ臨時費ノ中、一億ハ租稅ニ求メ

シヨウト云フ限度ニ付テノ目標ガアツタモ
ノデハナイ、殊ニ其後ノ特別議會ニ於ケル
二十億ヲ見合セテ作ツタ一億ノ増稅デナ
カラシテ、ソコニ何程ノ限度デ取ラウトカ
云フコトノ目標ト云フモノハナイト云フ風
ニ、私ハ御話ヲ伺ッタノデアリマス、揚足ヲ
貴ヒタク、昨日ノ話デハ、銃後ノ者モ相當
努メバナラヌ、サウンシテ利子ノ限度マデ
行クト云フコトニ付テハ、同感ノ點ガ多分
ニアルト云フコトヲ仰セラレテ居ル、ソコ
デドウモオカシイナト思ツテ見ルト、同感
ノ點ガアル筈ナノダ、ト云フノハ是マデノ
公債ノ増加ト云フモノト、今度ノ稅額ト云
フモノヲ比ベテ、是ガ略三分六厘位ノ利子
ニ達シテ居ル、ソコニ言葉ヲ曖昧ニサレテ
タイモノデアル、取リタイモノデアルト云
フ大藏大臣ノ計數上、財政上ノ見地ノ方ガ
先ニ立ツテ居ルノデハナイカ、唯銃後ノ者ヲ
カラウト思ヒマスガ、サウ致シマスト、昨
日前田君ニ答ヘラレタ方ガ御正直ノ考デナ
カツタラウカ、ソコラ有體ニ御話ヲ伺ッテ見
タイ

○賀屋國務大臣 少シ長クナリマスガ
○岡田委員 成ベク短カク願ヒマス
○賀屋國務大臣 銃後ノ國民ノ御奉公ハ
色々ナ意味デ辛イノデアリマス、其上ニ增
稅ヲ致シマスノデアリマスカラ、是ハ非常
ニ私ハ御氣ノ毒ダト思ヒマスガ、國民全體
色々ナ意味デ辛イノデアリマスカラ、是ハ非常
ニ私ハ御氣ノ毒ダト思ヒマスガ、國民全體
ノ責務トシテ已ムヲ得ヌト、斯ウ云フ風ニ
思フノガ根本デアリマス、尙ホ增稅ノ金額
ノ點ニ付キマシテ御質問デアリマスガ、私
ノ考ノ大體全貌ヲ申上ゲテ置キマスガ、私
ハ出來ルダケ是ハ多イガ宜イト思ヒマス、
昨日申上ゲマシタヤウニ、是ハ經濟力ノ發
達トカ國民生活ト云フコトヲ考ヘマセヌケ
レバ、戰費ノ全部ヲ增稅デヤッテモ宜シ
——デハナイ、其方ガ希望サレルノデア
リマス、ソレデ出來ルダケ大キイ方ガ宜
イ、併ナガラ經濟力ノ維持發展ガ根幹デア
ルカラ、ソレヲ阻礙シナイヤウニ、又國民
生活ヲ急激ニ極度ニ壓迫シナイヤウニ、此
考慮ノ結果、何レノ戰時ノ增稅ニ於キマシ
テモ、全部ドコロカ、三割、五割ノ增稅ハ
困難ナノデアリマス、隨テ公債ノ利子ドコ
サスト云フコトガ別ニ政治上ノ要義デハナ
カラウト思ヒマスガ、サウ致シマスト、昨
日前田君ニ答ヘラレタ方ガ御正直ノ考デナ
カツタラウカ、ソコラ有體ニ御話ヲ伺ッテ見
タイ

ス、昨日前田委員ノ御話ガアリマシタノニ
御答申上ゲマシタノハ、財政計畫トシテ經
常支出ハ經常收入ヲ以テ支辨スベシ、斯ウ
云フ事ハ常道トシテ洵ニ尤ナ事ナノデアリ
マス、努メナケレバナラヌコトデアリマス、
然ラバ此戰費ニ依ツテ增シマスル公債ノ
利子ノ如キ、經常收入ヲ增稅ニ依ツテ
支辨スルヤウナ方向ニ努メロト云フ御
意見ニハ贊成セザルヲ得ヌ、寧ロソレ
ヨリモ私ハ增稅ノ方ガ多イ位ガ戰時中
ハ宜イ、戰後ノ財政計畫トシテハ少
クトモ今ノ程度增稅デアリマスガ、私ハソ
レ以外ニ、事變ニ依ツテ殖エタ經濟的支出ハ
増稅ニ依ツテ賄ヒタイト思フカラ、御同感申
シタノデアリマス、戰時中ノ增稅ト致シマ
シテハ、右申上ゲマシタヤウニ公債利子ノ
シテハ、公債利子ノ支辨ガ非常ニ多ケレバ、
キモノデアル、併シ經濟上非常ニ障碍ガア
レバ、公債利子ノ支辨ガ非常ニ多ケレバ、
常道トシテハ已ムヲ得ヌケレドモ、場合ニ
モノハ來年又七十億、五十億殖エル、今度
シタイト云フ今度ハ一層進メタ大臣ノ御話
デアル、若シ一例ヲ舉ゲレバ、公債ト云フ
モノハ來年又七十億、五十億殖エル、今度
モ亦少クトモ利子ニ應ズルヤウニ增稅ヲス
ルノカト云フヤウナ感ジヲ國民ニ與ヘル、
アナタノ此言明ハ實ニ重大ナル意味ヲ持ツ、
又增稅ヲシテ見タイト云フコトハ、是亦重
大ナル意味ヲ持ツ、ソレデアナタノナサル
事ヲ少シ非難スルヤウニ當ルケレドモ、度
度言ウタノダカラモウ言ウテモ宜カラウト
思フノデアリマスガ、第一次ノ臨時事件費
ヲ出ス時ニ、五億ノ追加豫算ヲ出シテ一億

ノ御述ニナリマス方針ニハ同感ノ點ガ多々
アルノデアリマスガ、現實ノ增稅問題ハ必
シモソレニ依ツテ稅額ヲ決メル譯デハナイ
ト云フコトハ、今申上ゲマシタ通リデアリ
マス
○岡田委員 前田君ノ御話ト聯關シテ御話
ガアツタガ、前田君ノ御話ハ——前田君ガ居
ラレルカラ間違ツカラ取消シマスガ、是ハソ
ンナニ戰時トカ戰後トカ言ウテ居ルノデハ
ナク、現實ノ問題ヲ論ジテ居ラレタヤウニ
思フ、今デモ利子ヲ取ルヤウニシタラ宜イ、
來年モサウシタラ宜イ、斯ウ云フヤウナ意
味デ、戰時トカ戰後トカ云フコトデハナカッ
タト思フ、ソコデ戰時中ニ於テ尙更增稅ヲ
シタイト云フ今度ハ一層進メタ大臣ノ御話
デアル、若シ一例ヲ舉ゲレバ、公債ト云フ
モノハ來年又七十億、五十億殖エル、今度
モ亦少クトモ利子ニ應ズルヤウニ增稅ヲス
ルノカト云フヤウナ感ジヲ國民ニ與ヘル、
アナタノ此言明ハ實ニ重大ナル意味ヲ持ツ、
又增稅ヲシテ見タイト云フコトハ、是亦重
大ナル意味ヲ持ツ、ソレデアナタノナサル
事ヲ少シ非難スルヤウニ當ルケレドモ、度
度言ウタノダカラモウ言ウテモ宜カラウト
思フノデアリマスガ、第一次ノ臨時事件費
ヲ出ス時ニ、五億ノ追加豫算ヲ出シテ一億

増税ヲスルト云フコトヲ言ツタガ、ソレハ唯取レルダケ取ッテ見ヨウト云フ意味ニシカシテ來テ、ソレニハ何モ増税ノヤウナ附キモノハナカッタ、又今度近ク軍事豫算ヲ御出シニナルガ、今度ハ愈、以テ三億ノ増税ヲスルノダト云フ風ニナッテ來テ、ドウモソコニアナタノ考ガ浮動シテ居ルノデナイカト云フ觀念ヲ國民ニ與ヘル、既ニ與ヘテ居ル、ソコヘ持ッテ來テ今度ハ利子位ハ取ラナケレバナラヌ、戰時中殊ニサウダト云フコトニナルト、是ハドウモ戰時ノ景氣不景氣ノ上ニ一層ノ不景氣ヲ加ヘルモノデナアテ、我國ノ財政ヲ料理スル上ニ於テ、非常ニ茲ニ觀點ヲ異ニスル者ガ多イグラウト思フ、然ラバ私ハ第一ニ試ニ問フガ、來年昭和十四年度ニ於テ又費用ガ殖エル、今日ノヤウナダラダラシタ戰局デハ逆モ納マリハシマセヌ、其時ニハ又今度公債利子ダケハ取ラウト云フ考ガチラ附イテ居ル、ソコデ又増税ヲスルカドウカト云フ點ニ付テ、大藏大臣ハ何カ國民ニ對シテ只今御示シニナル御方針ガアリマスカ

ス、同時ニ幾ラモ取ルトハ申シテ居ナイ、多ク取ルガ宜イガ、經濟力ノ發展、國民生活ノ維持ト云フコトヲ考ヘタ其調和デ行カナケレバナラヌト云フコトヲ申上ゲテ居ル、是ハモウ度々繰返シテ申上ゲテ居ル所デアリマス、私ハ誤解ハナイト思ヒマス、殊ニ是モ數回繰返シテ申上ゲマシタガ、昨年一億圓ノ増稅ヲ致シマンタ時ニハ、我國トシテ貿易金融ニ對スル戰時體制ガ整ツテ居ナカツタ時デアリマス、サウシテ爲替ガ弱含ミノ際デアリマス、斯ウ云フ際ニ五億ト云フヤウナ公債ヲ增加スル時ニハ、一方「インフレーション」ヲ警戒致シ、物價ノ騰貴ヲ警戒致シ、爲替ヲ保タセルト云フ意思ガソコニ出ルコトガ非常ニ必要ナノデアリマス、其點モアリマシテ致シマシタ云フコトハ度々申上ゲマシタ、ソレカラ昨年ノ臨時議會ニ二十億ノ豫算ヲ出シマンタ場合ニハ、普通ナラバ増稅ヲスベキデアリマスルガ、一方此際ニハ、經濟界ハ大ナル事變ノ初期ニハ非常ニ怯エルノデアリマス、其上增稅ト云フ怯エル材料ヲ出シマシテ、經濟界ニ過度ノ萎縮ヲ與ヘルコトハ全體ノ上カラ宜シクナイト思ヒマスト同時ニ、其時ニハ幸ニ貿易ニ對シマシテ、又資金ニ對シマシテ戰時體制ノ立法ノ御協賛ヲ願ッタ次第デアリマス、ソレニ

依リマシテ爲替其他ノ統制モ出來マスルノ
デ、増稅ヲ致サナクテモ其點ハ十分ニ立法
趣旨ガ徹底致シマスカラ、其情勢トシテ致
サナカツタ譯デアリマス、今回ハ既ニ戰費ノ
撒布モ相當ニ行渡リマシテ、國民ノ全般方
同ジ程度トハ申サレマセヌケレドモ、一面
ニハ既ニ相當ニ收益ヲ増シタ階級モアリマ
シテ、金融モ落著イテ參リマシタ、詰リ過
當ナル警戒心ヲ脱シテ落著キノ時機ニ參リマ
シタノデ、當道ニ基キマシテ、經濟力ノ
發展ヲ阻碍シナイ限度ニ於キマシテ增稅ヲ
企テタ次第デアリマス、斯ウ云フコトハ、
一貫シタ方針ノ下ニ其時々ノ經濟界ノ情勢
ニ應ジテ致スコトデアルノデアリマス、常
ニ一貫ヲ致シテ居リマス、何卒左様ニ御説
解ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレデ今出來ル
ダケ多額ノ増稅ヲシタイト云フコトハ、財
政論デハ當然デアリマスルガ、一方經濟界
ノコト、國民生活ノコトヲ考ヘテ、ソレニ
合フ限度ニ於テ政府ハ考ヘル、何卒左様ニ
御承知ヲ願ヒタイ、公債ノ利子ガ少クトモ
増稅デ支辨サレルト云フコトハ、是ハ財政
上良イ觀念デアリマス、併シ昨日モ前田サ
ンニ申上ゲタノデアリマスガ、一議會毎ニ、
一ツノ公債ガ出ル毎ニ必ズソレヲ追掛けテ
増稅ラスルト云フコト、是ハ經濟界ニ對ス

ル影響ハ色々ノ事ガアルカラ、必シモサウハ参ラナイト思ヒマス、大體ノ方針トシテ經常歳出ノ増加ヲ經常收入ノ増加ニ依ッテ申上ゲタノデアリマス、一々致スト云フ譯デナイコトモ昨日前田サンニモ御承知願ッタノデアリマス、或ハ私ノ言葉ノ足ラヌ所モアルカト思ヒマスガ、左様御承知願ヒタクト思ヒマス

○前田委員 一寸私釋明シテ置キタイト思ヒマス、私方昨日申上ゲタノハ、ヤハリ大臣ノ仰シヤッタノト同一趣旨デアリマシタ、現在ノ情勢ニ即シテハ、巨額ナル軍事費ヲ公債一本ニスルト云フコトハ妥當デハナイ、今日ハ尙ホ相當増稅シ得ル餘地アリト考ヘルカラ、一部ハ増稅ヲ以テ補フベキデアル、而モ其目安ハ、軍事費公債ノ利子ニ充當サスト云フコトヲ目安トシテ、ソレヲ最小限度トシテ增稅スルコトガ必要デアル、斯様ニ考ヘテ實ハ御尋ヲ申上ゲタ、隨テ私共ハ今後經濟ノ情勢ガ變化スレバ、其變化ニ應ジテ、ヤハリ政策ハ變ヘナケレバナラヌノデアリマシテ、只今岡田君ノ仰セノ如ク、吾々民政黨ハ戰後ニ於テモヤハリ此方針ヲ執ルカト仰シヤレバ、決シテサウ云フ考ハ持ツテ居リマセヌ、ヤハリ事情ノ變化ニ應ジテ、

第六類第六號 臨時租稅增徵法中改正法律案外七件委員會議錄 第七回

國民ノ擔稅力ガ非常ニ増加スル場合ニハ、或ハ公債ノ元金マデモ、ヤハリ一部銷却スルヤウニ増稅案ヲ考ヘナケレバナラヌ、サウ云フ時期モ來ルノデハナイカ、或ハ今後ドンノ軍事費ガ殖エテ行ク、一方國民經濟力ガソレニ伴フテ増加シナイト云フヤウナ場合ニハ、或ハ増稅ヲ見合サナケレバナラスト云フ場合モ起ルノデハナイカ、要スルニ經濟政策ト云フモノハ、時勢ノ進運ニ伴ウテ、ソレニ即應シテ行クベキモノニアル、併シ現在ハヤハリ最小限度公債ノ利子拂ニ充當スルダケノ増稅ハ必要ダ、斯様ナコトヲ申上ゲタノデアリマスルカラ、ドウゾ一ツ誤解ノナイヤウニ御諒承願ッテ置キタイノデアリマス

○岡田委員 前田サンノ御話ハ仰シヤル通りニ同ツテ置キタイト思ヒマス、唯大藏大臣ニ御伺シテ置キタイトノハ、利子ヲ補フ限度位ハ增稅デ支辨スルト云フコトニハ觀念上多分ニ同意スル點ガアル、斯ウ云フコトヲ仰シヤッタ、サウスルト先申スヤウニ、茲ニ數字ヲ擧ゲテ置カヌトイケマセマガ、將ニ提出サレントスル臨時事件費、約四十八億云フ話デアリマス、概略ノ數アリマスガ、四十五億ノ公債ダラウト思フ、ソレカラ曩ニ

普通豫算ニ於テ公債ハ七億弱デアリマシタモノデアル、十二年度ニ於ケル公債ト云フモノガ三十四億ニナツテ居ル、仍テ三十四億ト五十二億、合計八十六億ニ三分六厘ノ利子ヲ掛ケテ見ルト、是ガ詰リ三億九千六百万圓ト云フコトニナルノデス、丁度是ガ今度ノ增稅ト云フモノノ數トピッタリ合フトハ行カヌガ、略、合ツテ居ル、ソレニ加フルニ大藏大臣ノ先程繰返シタ言明ガアルト云フコトニナルト、若シ夫レ軍事費ト云フモノガ事情ノ變化ニ依リ、殊ニ私ハ長引キ相當掛ルモノト見テ居ルガ、今年又軍事費ヲ出スカモ知レヌ、尤モ大藏大臣ハ此間今日ノ事情デハ出サヌト仰セラレタヤウデアルガ、來年度初メカラ直グ十四年度ノ分ヲ出スト云フコトハセヌト仰シヤッタ、ソレハ御見込ダケレドモ、變化ニ依テハ出スカモ是ハ日露戰爭二箇年經マセヌ申ニ二回モ増ニ増稅スルカシナイカト云フコトニナレバ、是ハ日露戰爭二箇年經マセヌ申ニモ度々増稅ヲシテ居リマス、世界戰爭中ニモ度々増稅ガアリマスノデ、是ハ前途必ズスルトカナツテ、又ソレガ增稅ニ依ルノデハナイカト云フ風ニ、世間ガ推斷ヲスルヤウニ思フ、ソレデモ構ハヌデスカ、私ハソレガ重大ナシテスルカト言ヘバ、サウ云フ方針ハ決シテ執リマセヌト云フコトヲ申上ゲタノデアリモウ一遍其御返事ヲ伺ツテ置キタイ

○賀屋國務大臣 今申上ゲマシタヤウニ、増稅ヲ適當トスル場合ニハ增稅ヲヤリマスガ、事變公債ノ利子ヲ取ラウト思ッテ增稅ガ、事變公債ノ利子ヲ取ラウト思ッテ増稅ハシマセヌケレドモ、若シ後日事變公債ヲ出ス度ニ、增稅ヲシテ行クカト云フ御話ナラ、サウ云フ方針デハアリマセヌ、併シ事變中リニ同ツテ置キタイト思ヒマス、唯大藏大臣ニ御伺シテ置キタイトノハ、利子ヲ補フ限度位ハ增稅デ支辨スルト云フコトニハ觀念上多分ニ同意スル點ガアル、斯ウ云フコトヲ仰シヤッタ、サウスルト先申スヤウニ、茲ニ數字ヲ擧ゲテ置カヌトイケマセマガ、將ニ提出サレントスル臨時事件費、約四十八億云フ話デアリマス、概略ノ數アリマスガ、四十五億ノ公債ダラウト思フ、ソレカラ曩ニ

カ出テ居ルノデアツテ、先ヅ合計五十二億ノモノデアル、十二年度ニ於ケル公債ト云フヲ賄ヒマスル意味ニ於テ、其都度增稅ヲ致モノガ三十四億ニナツテ居ル、仍テ三十四億ト五十二億、合計八十六億ニ三分六厘ノ利子ヲ掛ケテ見ルト、是ガ詰リ三億九千六百万圓ト云フコトニナルノデス、丁度是ガ今度ノ增稅ト云フモノノ數トピッタリ合フトハ行カヌガ、略、合ツテ居ル、ソレニ加フルニ大藏大臣ノ先程繰返シタ言明ガアルト云フコトニナルト、若シ夫レ軍事費ト云フモノガ事情ノ變化ニ依リ、殊ニ私ハ長引キ相當掛ルモノト見テ居ルガ、今年又軍事費ヲ出スカモ知レヌ、尤モ大藏大臣ハ此間今日ノ事情デハ出サヌト仰セラレタヤウデアルガ、來年度初メカラ直グ十四年度ノ分ヲ出スト云フコトハセヌト仰シヤッタ、ソレハ御見込ダケレドモ、變化ニ依テハ出スカモ是ハ日露戰爭二箇年經マセヌ申ニ二回モ増ニ増稅スルカシナイカト云フコトニナレバ、是ハ日露戰爭二箇年經マセヌ申ニモ度々増稅ガアリマスノデ、是ハ前途必ズスルトカナツテ、又ソレガ增稅ニ依ルノデハナイカト云フ風ニ、世間ガ推斷ヲスルヤウニ思フ、ソレデモ構ハヌデスカ、私ハソレガ重大ナシテスルカト言ヘバ、サウ云フ方針ハ決シテ執リマセヌト云フコトヲ申上ゲタノデアリモウ一遍其御返事ヲ伺ツテ置キタイ

○賀屋國務大臣 増稅ヲ致シマスノハ今マス

○岡田委員 今ノ點ハソレ位デ止メテ置キ

○賀屋國務大臣 増稅ヲ致シマスノハ今マス

○賀屋國務大臣 今申上ゲマシタヤウニ、増稅案デアリマスノ、併シ事變中リニ同ツテ置キタイト思ヒマス、唯大藏大臣ニ御伺シテ置キタイトノハ、利子ヲ補フ限度位ハ增稅デ支辨スルト云フコトニハ觀念上多分ニ同意スル點ガアル、斯ウ云フコトヲ仰シヤッタ、サウスルト先申スヤウニ、茲ニ數字ヲ擧ゲテ置カヌトイケマセマガ、將ニ提出サレントスル臨時事件費、約四十八億云フ話デアリマス、概略ノ數アリマスガ、四十五億ノ公債ダラウト思フ、ソレカラ曩ニ

カ出テ居ルノデアツテ、先づ合計五十二億ノモノデアル、十二年度ニ於ケル公債ト云フヲ賄ヒマスル意味ニ於テ、其都度増稅ヲ致モノガ三十四億ニナツテ居ル、仍テ三十四億ト五十二億、合計八十六億ニ三分六厘ノ利子ヲ掛ケテ見ルト、是ガ詰リ三億九千六百万圓ト云フコトニナルノデス、丁度是ガ今度ノ增稅ト云フモノノ數トピッタリ合フトハ行カヌガ、略、合ツテ居ル、ソレニ加フルニ大藏大臣ノ先程繰返シタ言明ガアルト云フコトニナルト、若シ夫レ軍事費ト云フモノガ事情ノ變化ニ依リ、殊ニ私ハ長引キ相當掛ルモノト見テ居ルガ、今年又軍事費ヲ出スカモ知レヌ、尤モ大藏大臣ハ此間今日ノ事情デハ出サヌト仰セラレタヤウデアルガ、來年度初メカラ直グ十四年度ノ分ヲ出スト云フコトハセヌト仰シヤッタ、ソレハ御見込ダケレドモ、變化ニ依テハ出スカモ是ハ日露戰爭二箇年經マセヌ申ニ二回モ増ニ増稅スルカシナイカト云フコトニナレバ、是ハ日露戰爭二箇年經マセヌ申ニモ度々増稅ガアリマスノデ、是ハ前途必ズスルトカナツテ、又ソレガ增稅ニ依ルノデハナイカト云フ風ニ、世間ガ推斷ヲスルヤウニ思フ、ソレデモ構ハヌデスカ、私ハソレガ重大ナシテスルカト言ヘバ、サウ云フ方針ハ決シテ執リマセヌト云フコトヲ申上ゲタノデアリモウ一遍其御返事ヲ伺ツテ置キタイ

○賀屋國務大臣 増稅ヲ致シマスノハ今マス

○賀屋國務大臣 今申上ゲマシタヤウニ、増稅案デアリマスノ、併シ事變中リニ同ツテ置キタイト思ヒマス、唯大藏大臣ニ御伺シテ置キタイトノハ、利子ヲ補フ限度位ハ增稅デ支辨スルト云フコトニハ觀念上多分ニ同意スル點ガアル、斯ウ云フコトヲ仰シヤッタ、サウスルト先申スヤウニ、茲ニ數字ヲ擧ゲテ置カヌトイケマセマガ、將ニ提出サレントスル臨時事件費、約四十八億云フ話デアリマス、概略ノ數アリマスガ、四十五億ノ公債ダラウト思フ、ソレカラ曩ニ

創設致シマシタ關係上、現在地方ニ於テ取ツ
テ居リマス所ノ興行稅ト、ソレカラ觀覽稅
トハ之ヲ廢止セシメルト云フコトニナル譯
デアリマス、其結果地方團體ニ於テ歲入ノ
缺陷ヲ生ジマス、尤モ入場稅ヲ國ニ於テ創
設スルニ伴ヒマシテ、曩ニ議會ノ協贊ヲ
經テ公布ニナツテ居リマスル所ノ法人ノ演
劇興行ニ對シテハ、營業收益稅ヲ課稅スル
ト云フ法律ガアルノデアリマシテ、アレヲ
實施スルト云フコトニナルト思ヒマスガ、
其方面デ國稅ニ於テ營業收益稅ガ増シマス
ト同時ニ、地方ニ於テ法人ノ演劇興行ニ對
スル營業收益稅ニ付テ附加稅ヲ取り得ル、
ソレカラ地方團體ハ興行稅、觀覽稅ハ廢止
致シマスガ、個人ノ分ニ付キマシテハ、雜
種稅タル營業稅ノヤウナモノノ課稅ヲ幾分
爲シ得ルノデアリマシテ、ソレ等ノ點ヲ差
引キマシテ、地方團體ニ於テ入場稅創設ニ
依リマスル減收見込額ハ、約三百六十萬圓
位ニナツテ居リマス、ソレカラ先程申上げマ
シタ通リニ、現在地方ニ於キマシテ特別所
得稅ヲ施行シテ居ルノデゴザイマスガ、今
回國ニ於キマシテ免稅點ヲ千二百圓カラ千
圓ニ引下ゲマシタ、此千圓カラ千二百圓マ
ノ間ノ階級ノ人ニ對シテハ、特別所得稅
ヲ課スルコトヲ得ナイノデアリマスガ、先

程申上ゲマシタヤウニ、内務、大藏兩大臣ノ許可ヲ得マシテ、最高限度千二百圓以上ノ人ノ所得稅及ビ其附加稅ヲ超過シナイ範圍ニ於テ、附加稅ヲ課スルコトヲ認メルト致

ス
トニナツテ居リマス、以上申上ゲマシタコト
ヲ合計致シマシテ、地方團體ノ減收額へ約
一千万圓、斯ウ云フコトニナルノデアリマ

ニ豫テヨリ思ッテ居リマシテ、此點ニ付テハ内務省ガモウ少シシカリ大藏省ニ突ッ込ンデ貴フヤウニシタラト、年中思ッテ居ルノデアルガ、ドウモ内務省ハ大藏省ニ比べテハ

シマシテ、尙ホ減收額ガ出マスモノガ約十
七万圓程ゴザイマス、即チ支那事變特別稅
法ノ提案ノ結果、地方團體ノ減收見込額ハ、
ス、ソレカラ臨時租稅措置法ニ於キマシテ
地租ノ輕減ヲ致シマス、ソレカラ營業收益
稅ノ輕減ヲ致シマス結果、地方團體ノ附加
稅ガ減ルノデゴザイマス、尙ホ此分ニ付キ
マシテハ地方ニ於キマシテ國ト同様ナ趣旨
ヲ以チマシテ、地方稅タル特別地稅及ビ其
附加稅、ソレカラ營業稅及ビ其附加稅ヲ減
少スルヤウナ措置ヲ執ルコトニナッテ居ル
ノデアリマス、其結果地方團體ニ於テ減リ
マスル稅額ガ、地租ノ輕減ニ伴ヒマシテ二
百六十八万圓程ニナッテ居リマス、營業收益
稅ノ輕減ニ伴ヒマスル分ガ三百六十万圓程
ニナッテ居リマス尙ホ臨時租稅措置法ニ於
キマシテ鑛產稅ノ免除ヲ行シテ居ルノデア
リマスガ、之ニ伴ヒマスル附加稅ノ減收額
ハ約二十万圓バカリデゴザイマシテ、合計
致シマシテ、臨時租稅措置法ノ關係デ約六
百五十万圓バカリ地方團體ノ收入ガ減ルコ

○岡田委員　此地方ノ負擔ノ減ズルト云フ
コトハ、納稅者カラ見レバ減ズルコトハ宜
シイガ、地方ノ自治團體トシテハ隨分影響ガ
アルコトハ申ス迄モアリマセヌ、ソコデ内
務省ノ人ガ居レバ聽キタイト思ツタノデス
ガ、今日ハ御遠慮シテ申上ゲナカツタノデ
アリマス、昨日カラ交付金ナドノ問題ガア
リマスガ、此事ハ今日ノ一億ノ交付金ヲ御
出シニナル中ニ眼中ニ入レテ御決メニナッ
タモノデアリマセウカ、或ハ眼中ニナクシ
テ決メタモノデアルカ、其事ヲ一寸簡単ニ
御伺致シタイト思ヒマス

弱イ、何時モ大藏省ニ征服サレテ居ルヤウデス、今日ノ時局ニ對シテモ、政府ハ頻リニ國費ノ支辨ニ付テ苦心慘憺セラレテ居ルヤウデアリマスガ、地方ニ於テモ隨分苦心ヲシテ居ル、現ニ去ル十一月ニ政友會ノ私共ハズット各府縣ヲ歩イタガ、交付金デ以テ戸數割ヲ下ゲタリ、授業料ヲ無クシタリスルコトハ廢メテシマッテ居ル町村ガ多カツタソレハ偶々貰ッタカラ助カル譯デ、是ハ有難イノデアルガ、併シ當初ノ目的カラ言フト、全ク反シテ居ルヤウナコトニナッテ居ル、ドウカ稅務署其他ノ人ニ命ゼラレテ、モット詳シク調べテ貰ヒタイ、戸數割ハ一面ニハ下ゲテ居ルヤウデアルガ、實際ハ寄附金ヲ取ツタリ、或ハ國防婦人會ガ活動シテ金非常ナ打擊ヲ蒙ツテ居ル、政府ハ銃後ノ者モ十分盡力シナケレバナラヌト云フ觀念ヲ、増稅ノ中ニ多分ニ盛ツテアルヤウデアルガ、私ニ言ハセルト、一體戰地ニ居ル者ト銃後ノ國民トヲ區別シテ考ヘルコトガ間違ヒナシデアリマス、サウ云フ考ヲサレテハイカ

ヌノデス、モウ銃後ノ者ト戰地ニ行ッテ居ル者トハ渾然一體ヲ成シテ居ル、政府ニ言ハレナクテモヤッテ居ル、ソレヲ政府ハ國民精神總動員トカ云ッテ、何ヤラ譯ノ分ラヌコトヲヤッテ居ル、一例ヲ舉ゲテ見ルト斯ウ云フコトガアル、此間行ツテ見テ何ヲヤッテ居ルノカト思ッタラ、小學校デハ一週間ニ一遍梅干ヲ入レタ辨當食フヤウナコトヲ言ッテ居ル、田舎デハ混合飯モ食ヘズ、梅干一つモ食ベラナイ、所謂缺食兒童ガ澤山居ルデハナイカ、サウ云フコトモ知ラズニ、上ノ方ノ役人ハ、梅干辨當食フ日ヲ作レト云フヤウナコトヲ言ッテ居ル、一體何ヲ言ウテ居ルノデアルカ、其結果ハドウカト云フト、唯無暗ニ萎縮ト云フコトノミニ走ッテシマッテ居ル、モウ少し政府ハ此實情ヲ能ク見ルコトガ肝腎デアリマス、理窟デハイカヌノデス。

ソコデ中央、地方ノ根本的改革ノコトデアリマスガ、私共モ今直グヤルコトニハ反對デ、政府ノ御見解ニ同意デアリマスガ、併シ是ガ長引イテ來ルト、モウ相當ノ準備ヲ整ヘラレテ、中央デ以テ地方ノ負擔ト云フモノヲ輕減シ、若クハ援ケテヤッテ地方ノ發達ヲ圖ルヤウニシナケレバナラヌ、今デ

ハ地方債ナドハ頻リニ制限シテ居ルヤウデアルガ、獨逸ナドニ行ッテ見ルト、此前モ言ウタ通リデアルガ、市町村ノ短期ノ公債ト云フモノヲ努メテ發行セシメテ居ル、ソレヲ政府ガ長期デ以テ肩替リヲシテヤッテ、市町村ヲシテ盛ニ土木事業ヲヤラシテ居ル、今吾々ガ長期戰ニ堪ヘントスルナラバ、地方ト云フモノノ繁榮ノ源泉ヲ枯渇サシテハナラヌ、茲ニ吾々ハ政府ノ財政政策ニ對シテ不満ナ點ガ多分ニアル、政府ハ財政ヲ整ヘルト云フコトニ急ニシテ、財政ト云フモノヲ萎縮シテシマッテ居ル、此事ハ今論ジテモ水掛論デアルガ、私ハ是カラ三箇月、四箇月經チ、半年經ッタ間ニ、現地ノ事實ガドウナルカト云フコトヲ大藏大臣ト争ツテ見タイ、今ノヤウナ萎縮政策ヲ執ツテ居テハ、日本ノ財政ト云フモノハ甚ダ不手際ナ形ニナルコトヲ私ハ惧レル、仍テ此際私ハ中央、地方ヲ通ズル財政、稅制ヲ整ヘルコトガ、一つノ地方ノ繁榮ヲ維持スル所以ト思ヒマスカラ、成ベク早イ機會ニ之ヲ爲サルコトヲ囑望シ、尙ホ當局ハ東僚ヲ督シテ、地方ノ實情ヲノ最モ重要ナ基準デアリマス、是ハ米穀法等ノ關係モアリ、相當維持セラレテ居ルコトハ法律ノ恩惠デアルガ、併ナガラ米ノ價格ノ高イコトガ物價ヲ高カラシメ、其高イ格ノ高イコトガ物價ヲ高カラシメ、其高イコトガ又翻ツテ工場勞銀ヲ高カラシメ、又

物價ガ高クナルト云フコトハ、是ハ私ガ申ス迄モナク經濟ノ原則デアリマス、ソコヘス迄モナク經濟ノ原則デアリマス、ソコヘモットノ深ク考察アランコトヲ希望致シテ置キマス、マダ大分アルノデスガ、委員長ドモトガアルモナク一千萬圓タラ額ニ上セテシマッタ、殆ドモウ頭カラ尻テ居ルト云フコトハ、我黨ノ松村氏ガ詳シフ、物價ノ指數ガ昨年ニ比べテ二割二分騰ツイ調査ノ下ニ本會議議ニ於テ發表サレテ居リマス、他國ノ物價ハ却テ下ヅテ居ル、我國ノ物價ハ本年ニ至ツテ却テ騰貴シテ居ル、其原因ハ様々アルヤウデアリマスガ、資金調整マズ、目星シイ物ハ網羅シテシマッタ、且ツ小賣ニ迄課ケテ居ル、所謂賣上稅ノヤウナ因ハ様々アルヤウデアリマスガ、資金調整ノ不圓滑ト云フコトガ大キナ原因デアラウテ思フガ、一面ニ於テハ物價ノ指數ハ、上レバ上ル程又順繩ニ後ヲ追ウテオ互ニソレガ刺戟トナツテ物價ガ騰ツテ來ル、互ニ因テ云フコトヲ大藏大臣ト争ツテ見タイ、今ノヤウナ萎縮政策ヲ執ツテ居テハ、日本ノ財政ト云フモノガ、申ス迄モナク我國ニ於ケル物價ノ最モ重要ナ基準デアリマス、是ハ米穀法等ノ關係モアリ、相當維持セラレテ居ルコトハ法律ノ恩惠デアルガ、併ナガラ米ノ價格ノ高イコトガ物價ヲ高カラシメ、其高イ格ノ高イコトガ物價ヲ高カラシメ、其高イコトガ又翻ツテ工場勞銀ヲ高カラシメ、又

○岡田委員 ソレカラ今度ノ稅法ト物價トノ關係ニ付テハ、昨日モ御問答ガアリマシガ讀ンデモ分ラヌヤウナモノガ澤山アル、ニ足ヲザルモノデアッタガ、本年ハソレヲ大ナル額ニ上セテシマッタ、殆ドモウ頭カラ尻マズ、目星シイ物ハ網羅シテシマッタ、且ツ小賣ニ迄課ケテ居ル、所謂賣上稅ノヤウナ性質ト迄見エルヤウナ物モアル、ソコデ先以テ私ハドノ位取ルノカ、大體ノ見込ヲ政府委員ヨリ聽イテ置キタイ

○松隈政府委員 御答致シマス、物品稅ノ中、第三種ト云フノハ燐寸ト酒類デ、是ハ從量稅デスカラ差當リ此部分ヲ除キマシテ、只今ノ御議論ハ第一種物品、即チ小賣課稅ノ物品、及ビ第二種物品、即チ製造場引取課稅ノ物品ニ付テノ御尋デアルト解シマシテ、御答申上ゲルノデアリマスルガ、大體第一種、第二種ノ物品ヲ通ジマシテ、平年度ノ收入見込額ガ約二千五百万圓位ノ豫定デゴザイマス

○岡田委員 燐寸ト酒類ハドノ位取ルノデスカ

○松隈政府委員 燐寸ノ收入ガ約八百万圓、酒類ノ收入ガ平年度約三千万圓位ニナリマス

○岡田委員 一寸算盤ヲヤツテ見マスト、八
百万圓ガ燐寸、ソレカラ煙草ガ一千万圓、
ソレカラ第一種、第二種ノ物品ガ二千五百
万圓、合計デ七千三百万圓ニナリマス、ソ
コデ昨年一千万圓デ満足シタ政府ガ、忽
チ此處へ以テ來テ煙草マデ入レテ七千三
百万圓ヲ取ル、是ガ又物價騰貴ニ拍車ヲ
掛ケルト云フコトバ、是ヘ爭フベカラザ
ルコトデアル、此間或人ガ來テ、去年ノ
物品特別稅ト云フモノデニ割課ケラレタ
カラ大藏省へ懇ヘタラ、ソレハオ前二割
上ゲテ向フノ方カラ取ッタラ宜イデハナイ
カト云フコトヲ仰シヤッタサウデアル、成
程大衆ニ轉嫁スルコトモ出來ルカモ知レ
ヌケレドモ、サウ大藏省ノ若人ガ言フヤ
ウニ轉嫁出來ハセヌ、ソレデ廢業スル者
ガ出來テ居ル、私ノ知ッテ居ル營業部類ニ屬
スル人ニソレガアル、詰リ是ヘ痛ク當ル者
ハ廢業スル、サウスルト重イ方ニハ增徵ハ
出來ヌ、取レル者ニ轉嫁ヲシテ益々物價ガ高
クナルコトニ拍車ヲ掛ケルト云フコトニナッ
テ來ル、ソコデ其コトニ付テ御意見ヲ聽ク
リマスルガ、去年ノ百分ノ二十ト云フ贊澤
品稅ヲ、百分ノ十二御下ゲニナツタ理由ハ、
ドウ云フ譯デアリマセウカ

○松隈政府委員 御答申上ゲマス、昨年北支事件特別稅法ノ物品特別稅致シマシテハ、其稅率ヲ價格ノ百分ノ二十ト定メタ次第デアリマスルガ、今回物品特別稅ヲ改メテ物品稅ト致シマシテ、其課稅範圍ヲ擴大シテ居リマシタモノハ之ヲ百分ノ十五ト、百分ノ五ダケ下ゲタ次第デアリマス、昨年百分ノ二十ト云フ稅率ヲ盛ツタノデアリマスルガ、是ハ本年ノ三月末日限リノ極ク短期間施行ノ臨時稅デアリマシタノデ、大體二割程度ノ課稅ハ差支ナイモノト斯ウ考ヘタ次第デゴザイマスルガ、今回ノ支那事變特別稅ヘ、其施行期間ヲ支那事變終了後一年間にト云フヤウナコトデ、稍、施行期間モ永クナツテ居リマスシ、只今御話ノアリマシタヤウニ、昨年施行政シマシタ結果ハ、百分ノ二十ト云フ稅率ノ關係モアリ、又一方物品ニ依リマシテハ、國民精神總動員其他ノ影響ニ依リマシテ、消費減ヲ來シテ居ルヤウナ關係モアリマシテ、ドウモ課稅ガ少シ強過ギタヤウナ感じガ致シマシタノデ、旁々マス、今回新シク追加致シマスル品目ニ付キマシテハ、昨年比較的負擔力ニ餘裕アルノ十五ト百分ノ五ダケ引下ゲタ次第デアリマス、今回新シク追加致シマスル品目ニ付

方面ノ消費スル物品ヲ、課稅範圍ニ取込ミ
マシタ際ニ、一應ハ之ヲ取込ムコトヲ差控
ヘタヤウナ品物デアリマシテ、隨テ同ジク
負擔力ニ餘裕アル方面ノ消費致シマスル品
目トハ申シマシテモ、ソコニ幾分ノ程度ノ
差モ認メラレマスモノデアリマスカラ、今
回新シク課稅致シマスモノヲ原則トシテ百分
ノ十ト定メマシテ、舊來カラ課稅ヲ受ケテ
居ル物トノ間ニ、更ニ百分ノ五ノ差等ヲ設
ケタヤウナ次第デアリマス

五位ニ下ゲタ方ガ、却テ增收ヲ得ル所以デ
ハナイカト云フコトヲ考ヘテ、百分ノ十五
程度ヲ適當ト認メタ次第ゴザイマスガ、
一方ニ於テ増税案ヲ提案致シマシテ、三億
一千八百万圓程度ニ達スル案ヲ立テマスル
際デアリマスカラ、既ニ百分ノ二十ノ課税ヲ
受ケテ居リマスルモノヲ著シク下ゲルト云
フノモ如何カト存ジマス、殊ニ其當時ハ課
稅品目ノ選擇範圍ガ比較的狹クシテ、尙且
ツ百分ノ二十ノ稅率デアリマシタ爲ニ、課
稅サレル品目トサレナイ品目トノ間ノ開キ
ガ、餘リ大キ過ギタノデアリマスガ、今回
ハ課稅サレル品目ノ範圍ガ相當廣クナリマ
シテ、旁、稅率ヲ百分ノ五程度下ゲテ百分
ノ十五ト致シマスレバ、百分ノ十五ノ課稅
ヲ受ケルモノノ稅ニ依リマスル影響モ、相
當緩和サレルモノト思ヒマス、ソコデ百分
ノ十五程度ノ課稅デアレバ、大シタ苦痛ヘ
與ヘナイデ済ミハシナイカト云フ風ニ考ヘ
テ致シタノデアリマス

マシテ、轉嫁ト申シマスカ、正當ナル間接
稅ハ轉嫁ニ止メルヤウニ一生懸命ニ努力致

シタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○岡田委員 國民ハソンナヤウナモノヲ負
擔スル覺悟ガアル、ソレハアルデアリマセ

ウガ、無暗ニ高クナルコトヲ防止スルコト

ヲ唯國民ノ忠愛心ニ懇ヘテ、俺ガサウ思フ

カラ國民モサウスルダラウト云フノヘソレ
ハ餘リニ樂觀過ギルト思フ、是ハ批評デア

リマス

ソコデ更ニ進ンデ伺ヒマスガ、所謂「セ
ールス・タックス」賣上稅ト云フモノハ、此

ノ趨勢ヲ以テ進ミ、今迄ノ稅ノ考ヘ方デ行
ケバ、先ツ國民全體カラ取レバ宜イ、國

民全體ニ課ケレバ宜イト云フコトニスルト、
賣上稅「セールス・タックス」ヲ課ケル、ドウ

モ斯ウ云フ所マデ進ムダラウ、昨年ハ贊澤
品ニ課稅シタ、今年ハ燐寸ニ課稅スル、進
デ今度ハ「セールズ・タックス」ニナルダラウ
ト云フ觀測ノ行ハレルコトハ當然デアラウ
ト思フガ、是モ御尋シタラ、ソレハ其時ノ話
ダ、マダ考ヘテ居ラスト言ハレルカモ知レ
ヌガ、ソレデモ宜イカラ一應ソレニ對スル
當局ノ御考ヲ承リタイ

○賀屋國務大臣 賣上稅ノ特質ハ、賣買ノ
アリマシタ度ニ課稅スルト云フコトデアリ

マス、ソレハドウモ私ハ餘リ贊成ヲ未ダシ

難イノデアリマス、原料カラ製品ニナリマ
シテ消費者ノ手ニ移リマス迄ニ、物ニ依リ

マシテハ五回ノ賣買ノアル物モアリマセウ、
或ハ數十回或ハ數百回ニモ及ブヤウナ物ガ

アルカト思ヒマス、其度ニ稅ヲ課ケマスト
云フコトハ、或物ハ非常ニ高率ナ稅ヲ課ケ

ラレル、或物ハ比較的少イト云フコトデ、
非常ニ不公平ニナルノデアリマスカラ、所

謂其意味ニ賣上稅ハ、只今ノ所贊成シ難イ
分子ガ非常ニ多イト思ツテ居リマス、今回ノ
ハ總テ一回課稅デアリマス、是ハ他ノ機會

デモ申シタノデアリマスガ、今回ノ物品稅
ト云フモノヲ所謂賣上稅ノ方向ニ進メルト
云フ意思ハ決シテアリマセヌ

○岡田委員 今ノ御話ハ一應諒承致シマス、
併シ是ハ左様ナル疑ヲ世間ニハ懷イテ居ル
ト云フコトヲ申上ゲタイ、段々ト擴張シテ
行ク間ニ、詰リソコ迄行クト云フコトヲ虞
レテ居ル、此事ヲアナタニ御注意マデニ申
上ゲタイト思ヒマス

ソレカラ愛國心トカ或ハ銃後ノ力ト云フ
コトヲ言ツテ、サウシテ政府ハ增稅ヲ出ス、
今度ハ總動員法ヲ出ス、何デモ彼デモ斯ウ

云フコトヲ言ツテ居レバ、國民ハ覺悟ラスルダ
ラウト考ヘテ居ルヤウニ私共ニハ見エル

ガ、銃後ノ國民ハソレヽ申ス迄モナク銃
後ノ力ヲ致シテ居ルノデアツテ、何モ政府ガ

關係デ差支ガアルサウデアリマス、モウ
ナケレバ分ラヌト云フコトデ、總動員法ヲ

出シテ見タリ、或ハ又增稅ヲ出シタリ、唯
國民ヲ覺悟サスト云フコトヲ物質的ニ求メ

テ居ル、其結果ドウカト云フト、一つノ社
モナルト思フ、又物價モ騰貴スルカラ豫算

ニモ影響スルシ、若クハ輸出ノ方ノ障礙ニ
モナルト思フ、又物價モ騰貴スルカラ豫算

ノ執行ノ上ニモ不都合ガアルト思フ、其上
ニ政府ノ所期スル增稅モ出來ルカ出來ヌカ
ト云フ問題モアル、隨分是ハ煩鎖ナ稅目デ
アリマシテ、稅務官吏ヲ殖シ、收斂苛酷ニ
及シデモマダ私ハ出來ヌト思フ、唯手數ガ
掛カルダケデアリマス、而モ是ハ臨時的ナ
モノデハナイカ、昨年臨時租稅增徵法ヲ可
決スルニ當リマシテハ、是ハ今年ノ暮ニハ
止メルト云フ口約ヲ與ヘラレマシタノデ、
吾々ハ之ヲ可決シテ居ルノデアリマス、今
度ハ其口約ハ何處カニ飛ンデシマシテ、愈、
其範圍ヲ擴メテ來タ、政府ノ言フコトハ信
用ガ出來ナイデハナイカ、サウ云フ風ナ、
其場限リノ御答辯ノヤウニ私ハ思フ、此事
ノ質問ハ終リマス

○高橋委員長 岡田君ニ御諮リ致シマス、
明日午前中ハ大藏大臣ガ貴族院ノ豫算總會

ノ關係デ差支ガアルサウデアリマス、モウ
十分位デアナタノ御要旨ガ盡キルナラバ、
更ニ御進メラ願ヒタイト思ヒマスガ、如何
ニ於ケル案件ガアリマスカラ……

○岡田委員 十分デハ濟ミマセヌカラ、何
レ御出席ヲ待ツテ致シタイト思ヒマス

シマス、明日ハ農林大臣ガ御出席ニナリ、
前田君ノ昨日以來ノ引續キノ御質疑ヲ願フ
コトニ致シタイト思ヒマス、明日ハ午前十
時ヨリ開會スル豫定デアリマス、午後ハ繼
續ガ不可能ト存ジマスガ、追テ明日御相談
ヲ申上ゲルコトニ致シマス、本日ハ是デ散
會致シマス

午後零時十五分散會

昭和十三年二月二十四日印刷

昭和十三年二月二十五日發行

衆議院事務局

印刷者 内閣印刷局